

鳥取市議会本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 （第22回）会議録

会議年月日	令和3年4月14日（水曜日）		
開会	午後1時53分	閉会	午後2時25分
場所	市役所7階 第1委員会室		
出席委員	委員長 岡田信俊 副委員長 勝田鮮二 委員 加嶋辰史 米村京子 朝野和隆 吉野恭介 岩永安子 平野真理子		
欠席委員	上杉 栄一		
委員外議員	太田 縁 石田 憲太郎 椋田 昇一		
事務局職員	事務局次長 植田 光一 議事係主事 田中 真一		
出席説明員	【総務部】 総務部長 浅井俊彦 【企画推進部】 企画推進部長 高橋義幸 経営統轄監 河井登志夫 次長兼政策企画課長 渡邊大輔 政策企画課課長補佐 平田政志		
傍聴者	2人		
会議に付した事件	別添資料のとおり		

午後1時53分 開会

- ◆岡田信俊委員長 ただいまより、本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会を開会します。
- 初めに、上杉栄一委員であります。所用のため欠席される旨、届出がありました。報告をしておきます。
- それでは、初めに、高橋部長に御挨拶をいただきたいと思えます。高橋部長、お願いします。
- 高橋義幸企画推進部長 本日は特別委員会開催をいただきまして、ありがとうございます。
- 先般3月の18日のこの委員会で、市民の方のアンケートの速報ということでお話をさせていただきました。その後3月の23日に専門家の方の委員会を開催いたしまして、御議論いただきました。その3月23日の際には、最終的には正副委員長で絞り込んだ案を出すというふうなことで、4月の1日に再度専門家の委員会を開催をさせていただきました。詳細についてはまた後ほど説明をさせていただきますけれども、そこで案を、絞り込みの御意見をいただきました。それを受けまして、本日私どものほうで鳥取市としての絞り込みの考えをお話をさせていただきたいというふうなことでございます。2回の委員会の報告と市の考え方について、それからまた今後の進め方等、そういったことについても若干御報告をさせていただきたいと思えますので、どうかよろしく願いいたします。

求められる機能の絞り込みについて（説明・質疑）

◆岡田信俊委員長 それでは、求められる機能の絞り込みについての説明を執行部よりお願いいたします。渡邊次長、お願いします。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。

そうしましたら、お手元に配付させていただいております資料、A4のレジюме表裏でございますが、御確認いただきたいと思っております。事前にお配りいただいたということですが、よろしいでしょうか。

◆岡田信俊委員長 よろしいですね、お願いします。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 改めまして、政策企画課、渡邊でございます。

それでは、求められる機能の絞り込みについて、レジюмеを基に御説明をさせていただきます。求められる機能につきまして、これまで令和2年度は各種団体、それからストリートミーティング、それから市民ワークショップというようなことで、市民の皆様からより多くの意見をいただきました。その意見を取りまとめて、12の機能にまず一旦整理しております。それがこのA4のレジюмеの真ん中辺にある1から12の機能でございます。その後、市民アンケート、それから専門家委員会、この専門家委員会は旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会でございます。以降は専門家委員会として発言させていただきます。その専門家委員会での議論を踏まえるとともに、関連計画等を総合的、客観的に判断し、5つの機能に絞り込んでまいりました。その5つの機能はこのレジюмеの一番下のところでございます。こちらを御説明させていただきます。

（1）でございますが、いかなる活用を行う際でも、防災・減災機能は取り入れるということでございます。アンケートの結果でも、かなり多くの皆様から防災・減災機能ということは支持をいただいております。災害時に緊急的に避難等ができる、活用できる施設というのは、全ての機能を使う上でも必ず必要になるものだということでございます。

（2）教育・学習機能と文化・芸術機能は統合し1つの機能とさせていただくということでございます。生涯学習の場と文化芸術の展示をしたり学習をしたりというところは、共通の事項が多いということで一つの機能としてまとめさせていただくということでございます。

（3）医療・福祉機能と健康増進機能は統合し一つの機能とするということでございますが、生涯を健康で過ごすということ、機能としましてはこちらも一つの一体の機能として検討するということで考えておるところでございます。

以降は、憩いの場・コミュニティ機能、それと娯楽・レジャー、それからオープンスペース、各機能合わせて全部で5つの機能ということで絞り込ませていただいております。

（4）でございますが、ビジネス機能や観光・コンベンション機能、生活基盤充実機能、それから交通機能、こちらにつきましても、全ての機能が市民の皆様からの意見交換により出たものであり、不必要なものというわけではございませんので、今回こちらに選ばれてはおりませんが、複合施設、施設をもし検討していく上で、一定の方向性を検討していく上で、複合施設の一部ということで取り入れていくこともやっぱり必要だということでございます。

こちらの議論、いただきました専門家委員会での議論、鳥取市のほうも異議ないということ

で、鳥取市として求められる機能ということでまとめさせていただいております。こちらを、今後の一定の方向性を検討していく上での議論のベース、土台となっていくものと考えておるところでございます。

おはぐりいただきまして、2に一定の方向性を示すまでの手順でございます。今までお示しをさせていただいておりました手順と変わっておりません。令和2年度には、市民や各種団体の皆様などから伺った御意見を基に、求められる機能を絞り込むということでさせていただいております。令和2年度中の策定ということで予定をしておりましたが、先ほど部長よりもありましたが、3月23日の専門家委員会では絞り込みができずに、4月1日に再度実施してまとまったものでございます。少し遅れましたけれども、最終的に一定の方向性を示すまでのスケジュールに対しては影響はないということを考えております。

令和3年度は、令和2年度といたしますか、このたび決めさせていただきます求められる機能を基に、活用について御意見をまた市民の皆様等から伺いながら一定の方向性を示していきたいということでございます。令和3年の5月頃には、市民参画ということで跡地の活用の協議・検討を始めていきたいと考えておるところでございます。

ちなみにですが、市民のワークショップというのは6月頃に考えております。昨年度は地域別に5回ということで検討してまいりましたけれども、新市のほうでかなり人が集まらなかったという現状もございまして、このたびは全市を対象に3回ということで開催をしていく方向で今協議をしておるところでございます。そのほか、新市の協議が少し少なくなるのではという懸念もございしますので、地域振興会議での説明など、そういったことも視野に検討をしておるところでございます。これらを開催した後に、活用について、また市民のアンケートを実施していくということ等考えております。こちらも前回同様、地域別、年代別ということで無作為で2,000名程度に配布をさせていただくということを考えております。

また、これらのワークショップでありますとか地域振興会議に先立ちまして、専門家委員会のほうで開催させていただいて、ワークショップでどういった資料を持って説明をさせていただくのか、議論していただくのかなど、そういったことも専門家委員会のほうで議論をしていきたいと考えております。それら併せまして随時、本特別委員会のほうで御報告させていただき、御意見をいただきながら進めてまいるということを考えておるところでございます。

一定の方向性につきましては、今年度できるだけ早い時期にということで市民の皆様にお示しできるように進めてまいりたいと考えておるところでございます。

報告は以上でございます。

◆岡田信俊委員長 御説明をいただきました。

委員の皆様から質疑等ございますでしょうか。加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。説明ありがとうございます。確認のために質疑させていただきます。旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会の委員のメンバー、また同じく旧本庁舎等跡地活用に関する各種団体意見交換会出席者、これは去年の10月ですかね、されたものですが、そういったところの入れ替わり等は予定されているのか、このまま同じ方、同じ団体でいく予定であるのかお尋ねします。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。まず、専門会委員会のメンバーでございます。これは引き続き2年の任期ということで一定の方向性を示すまでお願いをしておるものがございますから、変更はございません。続きまして、昨年の10月頃に開催させていただきました各種団体との意見交換会でございますが、現在こういった形でこの意見交換会を開催するかということを検討をしておる最中でございます。このたびは、求められる機能5つとまとめたものを絞り込んでいったりしていくというような作業でございますから、新たな御意見をいただく場というよりも、ここの中のものもしっかりと皆さんで意見をしていただいて絞り込んでいくという作業になってきますので、これは様々なやり方、方法があるとは思いますが、そういった各種団体の皆さんとの意見交換会の中でなじむのかとか、そういったことも含めて今検討させていただいておる最中でございます。以上でございます。

◆岡田信俊委員長 加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。お答えいただきました。そうしましたら、また検討を進めていただきたいんですけども、懸念を昨年したのは、その各種団体意見交換会の中で出た発言がメディアで報じられて、その内容が市民ワークショップにバイアスがかかったように私は少し感じました。ただ、純粹に公開されてるものなので、どんどんそれは報じていただきたいとは思いますが、その団体意見交換会の中でもうその流れに沿って出てきたものなのかなのか分からないままなってくると、公開されているのに地元紙が報じた、でも市役所側からは議事録が出なかったり、記者会見でこういう話があったというような話をしなかったりすると、また公開とは名ばかりのものになってしまうのかなというところがあるので、団体意見交換会の中でも発言の仕方とか、自由意見を本当狙って出してもらったものなのかなのかどうか、分からないんですけども、前回のものが。そういったところが今後注目を浴びていくとこだと思うので、工夫していただきたいなというところがありますので、これは質問というよりは私の意見ですので、そういったところを盛り込んでいただきたいというふうに要望をして、今の質問は終わります。

あと、すみません、続けて専門家委員会ですけども、5回中3回傍聴させていただいたんですが、非常に今回の5つの機能を絞るに当たっても苦慮されてたように感じました。なので、私の希望的観測では3つぐらいに絞られるのかなとは思ってたんですけど、数の話でないっていうのも専門家委員会の先生たちの話を聞いてて、こういう決め方があるんだ、こういう考え方があるんだということですので、すごく勉強にはなったんですけども、もともと機能をたくさん出すだけ出してもらって絞るという市の方針と、専門家が同じような答えを出すとは限らないということが今回分かってきたとは思いますが、同じ先生方をお願いをしていくところで最終的に市としてどういうことを考えているんだ、予算はどれぐらい考えてるんだというのが、質問が会の途中で執行部に来るっていうのは少し私、違和感もありましたので、専門家の先生たちと事前レクなんかするとおかしくなるんかもしませんが、それだったらもう最初にこのテーブルの中にどなたか、渡邊次長でも入られてもいいとは思いますが、フリーハンドで話せるような状況にしていてもいいのかなと思いましたが、専門家委員会ではあります、その会

の進行と、落としどころといいますか、向かっていくところにきちんと専門性が発揮できるような進行をお願いしたいと思います。以上、要望、意見です。

◆岡田信俊 委員長 ちょっと待ってください。

執行部のほう、ございますか、よろしいですか、要望ということで。渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。加嶋委員のおっしゃられることはよく分かりましたので、今後我々のほうもやはりしっかりと専門家委員会の皆さんとも協議をさせていただき上で、市として今後は活用に対して一定の方向性を示すということでありますので、市としての意見なりとか、そういったものも少しずつ、やはり入れていかないといけないと思っておりますので、そういったものも検討させていただきながら進めていきたいと思っておりますので、御意見ありがとうございます。

◆岡田信俊委員長 吉野委員。

◆吉野恭介委員 説明ありがとうございます。機能の一番下のイメージ図なんですけども、オープンスペースっていうのは、活用例としては公園、緑地、広場というようなことが出てくるわけなんですけども、都市計画とか駅周辺再生基本構想なんかの用語集を見ますと、建築物に覆われていない空間っていう説明があるんですけど、オープンスペースっていうのはそうした建築物に覆われていない空間ということで理解すればよろしいでしょうか。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 こちらに書かせていただいておりますオープンスペースというのは、やはり広場でありますとか緑地、公園ということで、建築物ということではございません。ただ、今後の絞り込みの中でオープンスペースに何かをつけるだとか、いろんなことも考えられますので、そういったことは今後の議論の中でお示しさせていただける、絞り込んでいく中で示されていくものだと考えております。

◆岡田信俊委員長 吉野委員。

◆吉野恭介委員 ありがとうございます。5つ、防災・減災を入れると6つの機能っていうことになるんですけど、これを全て網羅したものになるのか、いやいや、例えば1個言うと、にぎやかづくりみたいな娯楽レジャーとかっていったものが書いてあるんですけど、そういったものを一緒にしようと思うと、部屋を区切るとか階を隔てるとかということにもなるかと思うんですけど、この機能を全部盛り込むっていう考えなのか、いや、この何個かをピックアップしてチョイスして選んでいくっていう考えなのか、その辺りを教えてください。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 このたび選ばせていただいた求められる機能5つ、これは今後の話合いのベースになる、基になるものということでございます。これを絞り込むこともございますし、これはこのたびの中から取り除くというようなこともございますので、今後の皆さんの御議論だとか、そういったものの中でまたお示しをさせていただいていく部分かと考えております。

◆吉野恭介委員 ありがとうございます。

◆岡田信俊委員長 そのほか、ございますでしょうか。平野委員。

◆平野真理子委員 いよいよその求められる機能っていうことの絞り込みについてこれから検討されていかれるわけですけども、それが本年度の取組になります。前の庁舎特別委員会の報告の中で最終報告の中で、報告の1点として、跡地活用を検討する上で重要なのは将来的なまちづくりビジョンを明確にすることです。というふうに報告をさせていただいております。この様々な市民の皆様の御意見、また専門家委員の皆様の御意見を、お力をいただきながら求められる機能を絞り込むわけですけども、そうした中でやはり、本市としてこういうまちづくりビジョンを持っているということについては、何か明確なものを発表されているのか、示しておられるのか、その点についてはどのように考えておられるでしょうか。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 本市として将来的なベースになるものというのは、やはり総合計画でありますとか、それから中心市街地の活性化の計画でありますとか、都市計画のマスタープランでありますとか、そういったものがやはり将来に向かってのビジョンでありますとか計画ということになってくると思っておりますので、そういったものを専門家委員の皆様にもしっかりと御説明をさせていただいておりますし、ワークショップなりとかそういったものがあるときには、関係のあるところっていうのは抜粋させていただいて、市民の皆様にも見ていただいておりますのでございます。またこういったことは、常にといたしますか、やっぱりワークショップをされる時だとか、そういったときには再度改めてまたお示しをしながら進めさせていただくということは考えておるところでございます。

◆岡田信俊委員長 平野委員。

◆平野真理子委員 大変大事なところだと思いますので、こういう計画がある、こういう計画がある、こういう計画の下でこうしているっていう、確かに読めば計画、ビジョンは書いてありますということになるかもしれませんが、これからアンケートとかワークショップをする中で、市の言葉としてもやはり分かりやすく、こういうまちづくりをしていく、ビジョンを持っているっていうことを訴えられることも、一つにまとまっていく、方向性を示していく重要なポイントじゃないかなというふうに考えますので、その点についても今後御検討をお願いしたいと思います。以上です。

◆岡田信俊委員長 そのほか、ございますでしょうか。加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。委員間質疑をお願いしたいんですけども、発言されていない委員さんになんですけど、今日はもう求められる機能の絞り込みで、次回からは話を戻すことができない重要な会だと思うんです。残念ながら欠席された方もおられますけれども、今のままだともう終わってしまうとこなので、ちょっと出しゃばって、私がちょっと理解があれなので、これから挙手されようとしてたかもしれないですけど、ちょっと改めてお尋ねしますが、この今回のアンケートや意見を基に求められる機能が絞られたことについて、朝野委員、どのように思われてますかね、御所見を伺います。

◆岡田信俊委員長 もしあれば、言わんとしたことを重複されて言われたかもしれませんが、強要するものではないと思います。もし、あれば。加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 加嶋です。簡潔に言います。今日のこの求められる機能が出てきたものを、こ

の22回の特別委員会を終わると次からはもう一定の方向性のほうに入っていく意見を聞くので、我々としても話を蒸し返すことができなくなると思います。今回、この5つに絞られたイメージが出てきたりしてますけれども、この絞り込まれたものを報告を受けて、どのように感想を持たれたかお尋ねしてみたいと思います。

◆岡田信俊委員長 ありますか。朝野委員。

◆朝野和隆委員 朝野です。感想というか、ここの部分で絞り込んでいくということは非常にいいことだと思いますし、先ほど平野さんが言われてるように、まず初めに市のほうもどういうふうに、これからの施策というものがあられるわけですから、それをまず訴えた中で進めていくというのが私は望ましいんじゃないかなというふうに思いますので、淡々と、言われるようにやられればいいんじゃないかなというふうに思っています。

◆岡田信俊委員長 加嶋委員。

◆加嶋辰史委員 御回答ありがとうございます。

そうしたら続いて、岩永委員、所見を伺います。

◆岡田信俊委員長 加嶋委員、こっちが振りますんで。

もし発言されてない方で意見がございましたら、挙手の上、お願いします。ありますか。岩永委員、じゃあ。

◆岩永安子委員 すみません。私はこの1年間、市民の皆さんの声をしっかり聞いていくと、聞いた上、求められる機能は何なのかっていうことを1年間いろんな形で聞いてこられて、それを専門家の委員会の皆さんの意見も受けてこのような形に今絞り込まれたというふうに思っております。市民の皆さんが判断された中身っていうのは本当に求められてるものじゃないのかなというふうに、私はこの間のアンケートの集約やそれから専門家委員会の方の討論を聞いてって思いました。市の中心地で防災・減災が本当に必要だというふうに思われたことや、その上で5つの機能に絞り込んでこられたことっちゃうのは、非常に私は賢明な判断を市民の皆さん、それから専門家の皆さんが出していただいたんじゃないのかなというふうに受け止めております。で、その絞り込みの中で、何度か確かに専門家委員会の中で市はどう考えてるんだっていうことも言われたんですけど、やっぱり市としての大きな計画、それからしっかり市民の皆さんの声を聞く、そこを大事にしてやってこられたことがうまくまとまったんじゃないのかなというふうに思って、この絞り込んだ機能について受け止めております。

◆岡田信俊 委員長 ちょっとお待ちください。

先ほど委員間討議ということでありましたけども、委員間討議ということは動議になるということでございますので、あくまでも意見を出されてない方の意見をあれば聞くという解釈でお願いしたいと思います。もしということで、発言されてなくて……。米村委員、どうぞ。

◆米村京子委員 発言されてない方どうみたいなこと言われたんで。実際問題、先ほど平野さんが言われたように、まず第一に、市のビジョンがやっぱりなかなか見えないというので専門家委員会の人はずっと常々言ってらっしゃった中で、この求められる機能の5つの機能っていうことで出されましたけど、正直に言いまして、岩永議員さんはちゃんとすごくいい具合にまとめられている、確かにまとめるの大変だったと思いますけど、これほとんどまとまっているんで

しょうかと私は疑問に思いました。ていうのと、一つは、結局ここの①、⑧の教育・学習とか、括弧別になってますよね、それで最後に言われました。（4）ビジネス機能とかコンベンションとか複合施設の一部に取り入れることによってということで、今後活用を検討していく上で複合施設の一部として取り入れることも考えるっていう、こういう文言があるということは、何でもいいのか、逆に、また。一応ポイント的にはこうやってうまい具合に枠組みがしてあるんですけども、これ何かまた複雑になってきているような気がして、ちょっと私、分かりにくくなっちゃってるのと、1つ執行部のほうにお伺いしたいんですけども、求められる機能を絞り込みましたって言われて、ですね、今回ね。それで次の3年度は求められる機能を基に活用について意見を伺い、跡地活用の一定の方向性を示しますって書いてあるんですけど、この求められる機能を基に絞り込んだ後の求められる機能、何かその辺のところの、なんて解釈なんでしょうけども、もう一度その辺ちょっと説明していただけたらうれしいんですけども。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。求められる機能、このたび求められる機能5つということで絞り込みをさせていただきました。これを話合いのまずベースにさせていただいて、この求められる機能について、どういった活用で跡地の活用をしていくかというようなことで議論を進めさせていただきたいと考えております。その中で、やはり最終的にはこの部分とこの部分をもっとくっつけようとか、この部分はやっぱりこのたびは逃していくという言い方は変ですけど、なるだろうとか、そういったようなことはまた今後の御意見の中でしっかりと皆さんの意見を聞きながら、専門家委員会にも御意見を聞きながらさせていただくということになりますので、最終的には跡地活用に対して将来に向かってこういったことで活用の一定の方向性ということで市民の皆様にお示しをさせていただくということになりますので、流れとしましては、まずこれをこのたびの求められる機能をベースに話合いを進めていく土台になるということになります。ただ、その中でこのたび選ばれなかったものに関しましても、今まで市民の皆様からいただいた御意見では確かにありますので、活用、一定の方向性を示す中での加えてこういったこともここに入れたいらいいのではないかとこのころがあれば、拒むものではないということでございます。以上でございます。

◆岡田信俊委員長 米村委員。

◆米村京子委員 言っていただきました。それで、後の意見なんかも拒むものではないというところで、もう一つお聞きしたいのがですね、市民ワークショップとか市民アンケートを求められる機能を基にまたされるということなんですけども、この市民アンケートはどういう形のものになるかはもちろん、これから求められる機能の一定の方向性を見いださないといけないかもしれないんです。要するに、もうすみません、正直に言います。またアンケートを取るんですか。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 もう一度、アンケートを取らせていただくことを考えております。

◆岡田信俊委員長 米村委員。

◆米村京子委員 そうなってきますと、今までと違った形のアンケートっていう理解でよろしいですか。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 アンケートの内容は、まだワークショップなりとか、そういったものを踏まえた上での内容を考えるということになりますので、まだ考えておる段階ではございません。

◆岡田信俊委員長 米村委員。

◆米村京子委員 ごめんなさい。市民アンケートにしても、何かもう少し、何かまたアンケートなのかな、どういう形のアンケートのものを出していくのかなというのがちょっと見えてこなかったものですから、もしかあれでしたらまたきちっとした形のものを見える形にさせていただきたいと思います。

◆岡田信俊委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 ワークショップをした後に、やっぱり専門家委員会の皆さんにどういったアンケートが一番効果的なものかというようなことをまた御議論させていただきまして、当然この特別委員会のほうでもお示しをさせていただきながら御意見をいただくということになると思います。

◆岡田信俊委員長 そのほか、ございますでしょうか。よろしいですか。よろしいでしょうか。
(「はい」と呼ぶ者あり)

◆岡田信俊委員長 それでは、報告事項に対する質疑等なしと認め終結いたします。

次に、3 番その他であります、その他として委員の皆様、執行部より何かございますですかね。よろしいですか、執行部のほう。

(「ございません」と呼ぶ者あり)

◆岡田信俊委員長 皆様、それでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

◆岡田信俊委員長 それでは、以上で本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。

午後 2 時 25 分 閉会

本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会（第22回）

日 時：令和3年4月14日（水）

全員協議会終了後

場 所：7階 第1委員会室

1. 開会

2. 報告事項

（1）求められる機能の絞り込みについて

3. その他

4. 閉会